



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <https://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 晴信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-204-3050

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	182,406	25.9	1,815	△51.8	2,147	△47.7	823	△72.3
2022年3月期第3四半期	144,890	7.7	3,766	△9.4	4,107	△7.7	2,975	3.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △132百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 2,772百万円 (△18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	27.86	-
2022年3月期第3四半期	99.10	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	111,111	60,797	54.5
2022年3月期	88,014	62,159	70.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 60,562百万円 2022年3月期 61,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	15.00	-	17.00	32.00
2023年3月期	-	17.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	17.00	34.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,000	9.6	2,200	△46.8	2,600	△43.0	1,100	△65.8	37.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	30,371,908株	2022年3月期	30,371,908株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	824,331株	2022年3月期	612,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	29,573,091株	2022年3月期3Q	30,026,935株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐなか、景気は緩やかに持ち直しているものの、急激な円安の進行や資源・エネルギー価格の高騰による物価の上昇、ロシア・ウクライナ情勢の長期化など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、前期から上昇傾向にあった主原料のとうもろこし価格が、ロシアによるウクライナ侵攻の深刻化や堅調なエタノール生産等から、当期に入ってさらに上昇しました。7月下旬にいったん値を下げたものの、米国の天候不順などから再び上昇基調に転じ、高値圏で推移しております。また、日米金利差の拡大などから急速に進んだ円安は、政府・日銀による為替介入や日銀の金融政策見直しにより円高に転じたものの、円安基調に変わりなく、飼料の原材料価格は大幅に上昇しております。このような状況を反映して、当社は4月から3四半期連続で配合飼料価格を値上げしました。また、商系飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価が、2倍以上に上昇するなど、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは飼料セグメントの規模拡大と収益力向上、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を基に、強固な収益基盤の構築に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,824億6百万円（前年同四半期比25.9%増）、営業利益18億15百万円（前年同四半期比51.8%減）、経常利益21億47百万円（前年同四半期比47.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億23百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

売上高は、主力の飼料事業の平均販売価格や販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、25.9%の増収となりました。営業利益は、資源・エネルギー価格高騰による製造コストの増加や販売費及び一般管理費の増加により51.8%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより減益幅が拡大し、72.3%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、畜産飼料の平均販売価格、販売量ともに前年同四半期を上回ったため、前年同四半期比26.3%増の1,722億22百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期比83.5%減の6億39百万円となりました。畜産飼料は、採卵鶏用飼料やブロイラー用飼料の拡販を果たし、販売面は堅調に推移したものの、資源・エネルギー価格高騰による製造コストの増加、飼料価格安定基金負担金単価の上昇による販売費及び一般管理費の増加や貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したことなどにより、減益となりました。また、水産飼料は、販売量が増加したものの、主原料の魚粉価格高騰やウナギ・ブリの稚魚の導入量が減少して競争が激化したことによる利益率低下などにより、業績が悪化しました。

(その他)

売上高は、前年同四半期比19.4%増の101億83百万円、セグメント利益は、前年同四半期比18.3%増の7億3百万円となりました。畜産用機器事業は販売台数が増加したものの、資材価格の高騰や費用の増加、為替差損の発生により減益となりましたが、有機入り配合肥料や特殊卵の販売量が大幅に増加し、増収増益を確保しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ230億97百万円増加の1,111億11百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加194億76百万円、原材料及び貯蔵品の増加46億13百万円、現金及び預金の減少22億11百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ244億59百万円増加の503億14百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加88億21百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加138億93百万円、長期借入金の増加17億91百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13億62百万円減少の607億97百万円となりました。主な増減は、自己株式の増加2億8百万円、繰延ヘッジ損益の減少9億86百万円であります。総資産が増加し純資産が減少した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ15.9ポイント低下の54.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年10月31日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,751	2,539
受取手形及び売掛金	36,372	55,849
商品及び製品	2,415	3,325
仕掛品	635	834
原材料及び貯蔵品	10,065	14,679
その他	3,585	3,026
貸倒引当金	△243	△373
流動資産合計	57,583	79,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,667	8,673
機械装置及び運搬具(純額)	6,914	6,766
工具、器具及び備品(純額)	1,083	1,159
土地	7,049	7,049
建設仮勘定	427	1,057
有形固定資産合計	24,142	24,705
無形固定資産	574	546
投資その他の資産		
投資有価証券	4,779	4,745
その他	1,082	2,353
貸倒引当金	△147	△1,121
投資その他の資産合計	5,714	5,977
固定資産合計	30,431	31,229
資産合計	88,014	111,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,650	23,471
短期借入金	1,106	15,732
1年内返済予定の長期借入金	1,976	1,244
未払法人税等	773	24
賞与引当金	452	217
役員賞与引当金	32	5
その他	2,530	3,841
流動負債合計	21,522	44,537
固定負債		
長期借入金	1,036	2,827
債務保証損失引当金	16	1
退職給付に係る負債	525	540
資産除去債務	70	71
その他	2,683	2,336
固定負債合計	4,332	5,777
負債合計	25,855	50,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,337	4,324
利益剰余金	51,971	51,787
自己株式	△757	△966
株主資本合計	60,287	59,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	1,098
繰延ヘッジ損益	413	△573
為替換算調整勘定	38	91
退職給付に係る調整累計額	87	63
その他の包括利益累計額合計	1,650	680
非支配株主持分	220	234
純資産合計	62,159	60,797
負債純資産合計	88,014	111,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	144,890	182,406
売上原価	134,168	171,972
売上総利益	10,722	10,433
販売費及び一般管理費	6,955	8,618
営業利益	3,766	1,815
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	156	181
持分法による投資利益	70	72
貸倒引当金戻入額	0	0
債務保証損失引当金戻入額	—	14
その他	131	103
営業外収益合計	362	375
営業外費用		
支払利息	17	25
債務保証損失引当金繰入額	1	—
為替差損	—	10
その他	2	6
営業外費用合計	21	43
経常利益	4,107	2,147
特別利益		
固定資産売却益	5	4
投資有価証券売却益	115	—
特別利益合計	120	4
特別損失		
固定資産除売却損	11	4
貸倒引当金繰入額	—	1,040
特別損失合計	11	1,044
税金等調整前四半期純利益	4,216	1,107
法人税、住民税及び事業税	1,132	467
法人税等調整額	104	△191
法人税等合計	1,236	275
四半期純利益	2,980	831
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,975	823

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,980	831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△12
繰延ヘッジ損益	△60	△986
為替換算調整勘定	24	40
退職給付に係る調整額	△15	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	18	19
その他の包括利益合計	△207	△963
四半期包括利益	2,772	△132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,764	△146
非支配株主に係る四半期包括利益	8	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	136,363	136,363	8,527	144,890	—	144,890
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	9	9	△9	—
計	136,363	136,363	8,537	144,900	△9	144,890
セグメント利益	3,875	3,875	594	4,469	△252	4,216

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△863百万円、金融収支595百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	172,222	172,222	10,183	182,406	—	182,406
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	40	40	△40	—
計	172,222	172,222	10,223	182,446	△40	182,406
セグメント利益	639	639	703	1,342	△235	1,107

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△812百万円、金融収支702百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。